



2022年3月9日 東地申第62号

派出検査体制の見直し（松戸車両センター上野派出所の解消）に関する申し入れ

地本は1月28日に「2022年度車両関係施策について」の提案を受け、その中で派出検査体制の見直しが提案されました。新系列車両への置き換えや機器更新の実施、E233系をはじめとした機器の二重系車両の導入を実施すると共に、異常時共有システムを活用した指令や関係箇所との情報共有迅速化、各派出へのIP無線配備による指令との情報伝達 共有の迅速化、さらには輸送体系の変化によって、松戸車両センター上野派出所を解消するというものです。

上野派出所は、2014年3月に松戸車両センター上野派出所となり、上野発着の車両を中心に車両故障やサービス機器への対応を行ってきており、多様な線区の安全・安定輸送を支え、さらにはお客さまサービスの維持向上に貢献しています。提案では、上野派出所解消の理由に新系列車両の導入、異常時共有システムやIP無線の導入による情報共有の迅速化、輸送体系の変化があげられていますが、根拠としては不十分です。上野派出所は年間1000件以上の申告対応を行っており、団臨や季節臨、四季島など多様な車種にも対応しています。また、上野駅構内電留線や秋葉原電留線における作業も上野派出所が対応しています。さらには、交直流車や優等列車の教育の場としても活用されています。車両故障の減少や情報伝達の迅速化、輸送体系の変化が行なわれても、その役割や使命は変わるものではありません。上野派出所を解消すれば、列車の安全・安定輸送やサービスレベルが低下することは明らかです。

したがって、以下の項目について申し入れを行いました！

1. 松戸車両センター上野派出所がこれまでに果たしてきた役割や、対応件数とその内容の変化を具体的に示し、解消する根拠を明らかにすること。また、他の派出所で対応可能な根拠を具体的に示すこと。
2. 今後どのように首都圏の安全・安定輸送を維持向上させていくのか、派出検査体制の考え方と今後の展望を示すこと。また、他派出所の体制を強化すること。
3. 上野駅構内電留線および秋葉原電留線における、上野派出所解消後の対応箇所を明らかにすること。
4. 他区所からの預かり品について、上野派出所解消後の取扱いをどのようにするのか示すこと。
5. 上野派出所はこれまで教育の場としても活用されてきたが、今後の人材育成や技術技能継承の考え方を明らかにし、技術技能継承ができる体制とすること。
6. 本施策により異動が発生するのか明らかにし、本人希望を尊重すること。
7. 上野派出所解消後も安全・安定輸送やサービスレベルが維持向上する体制を整えること。

派出検査の重要性が高まっている中で、首都圏の安全・安定輸送が保たれるのか？
精力的に団体交渉に臨んでいきます！